

つなぐ！むらづくり便り

中山間地域振興に役立つ情報を新潟県からお届けします！

将来プラン実践に足踏みする地区への支援事例

今回は、緊急度が高い取組を絞りこむことで、取組推進が加速した事例を紹介します。

問題



やりたいことが多すぎて何から始めればよいかわからない...

状況

- ・地域農業の維持に向けた取組として、「法人化」や「農作業受託」、「直売所の活性化」、「地域外交流」、「鳥獣害対策」など、数多くの取組を将来プランに掲げた。
- ・しかし、取組の数や目標に対して実践組織の体制が限られていたため、何から始めていけば良いかがわからず、具体的な動きに至っていなかった。



対応

プラン取組の優先順位付けを働きかけ

- ・各取組内容の緊急性や重要度を比較検討することにより、取組を順位付けするよう助言



成功！

結果

- ・事務局が緊急性や重要度を比較検討して、第一に「鳥獣害対策」に取り組むべきと方針を整理し、地区に出没するイノシシの映像を提示することで、メンバーの認識が一致した。
- ・取組順位が明確になったため、具体的な内容の議論が一気に活発化し、早期着手に至った。
- ・地域住民への活動報告で、地域全体からの承認が得られ、実践組織の自信と責任の醸成につながった。



気付き

緊急性や重要度の比較には、映像やデータを共有することが有効

- ・プラン策定段階で緊急性と重要度の見える化を支援していれば、もっとスムーズに進めることができた。
- ・また、発案者にプレゼンテーション（簡単なものでも）を求めると、その後の活動においてもモチベーションが維持・向上することが期待できる。